

# シラチャ校だより

泰日協会学校シラチャ校  
2025. 2. 28



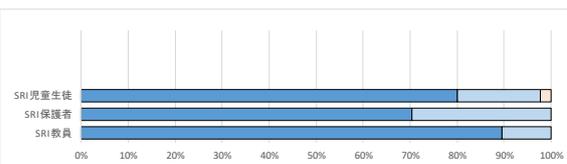
「豊かな学びへの達成感とわくわく感のある学校を目指した一年間」のその先  
シラチャ日本人学校 校長 藤枝茂雄

一年間の学校教育活動のまとめの時期を迎え、児童生徒も、先生方も、本帰国や離任の準備などで、忙しい時期を迎えている。本年度も残り二週間ほどであるが、「高名こうみょうの木登りきのぼり」の昔話のごとく、最後まで気持ちを引き締めて過ごしたいものである。

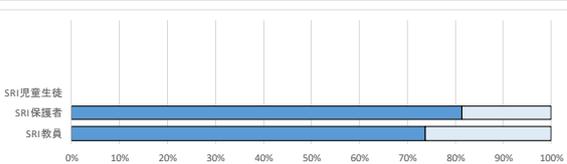
さて、さる一月には、学校評価アンケートを実施し、現在のシラチャ校の教育活動についての学校関係者評価を行った。その結果は、文末に示しているとおりであり、総合的に見た時には、一定の評価をいただくことができているのではないかと考えている。

## 1 学校全般に関すること

(01) 警備等危機管理に努めており、安心できる。		そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
						増減	増減		
	SRI児童生徒	276	61	8	0	97.7%	0.3%	2.3%	-0.3%
	SRI保護者	114	48	0	0	100.0%	6.2%	0.0%	-6.2%
	SRI教員	17	2	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



(02) 教職員の対応が丁寧である。		そう思う	やや そう思う	ややそう 思わない	そう思わ ない	Positive		Negative	
						増減	増減		
	SRI児童生徒								
	SRI保護者	131	30	0	0	100.0%	2.1%	0.0%	-2.1%
	SRI教員	14	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%



シラチャ校には、この学校関係者評価とは別に、タイ教育省が5年に一度ONE SQA(オネスカ)という外部評価機関に委託して実施する「教育省の学校評価」もある。前回のオネスカONESQA評価は、2023年度の秋に前年度までの教育実践を

対象として行われた。結果は5段階の4(「ベリーグッド」)であった。タイ人の学校教育関係者によると、「5段階の5に相当する「エクセレント」はめったなことではお目にかかることができない」ということであるから、事実上、タイの教育省の評価的にも最高に近い優れた評価をいただけているのだろうと思われる。

しかし、我々としては、「シラチャ日本人学校」としてのプライドをもって、次回の2028年度の教育省の学校評価での極めて難易度の高い「エクセレント」獲得に向けて動き出している。ONESQAからの指摘事項に関しては、たとえば、「個別の探究的な学びの推進と、その評価に関するフィードバックの在り方や活用の仕方」という、「確かにそうだ」と思うものもあれば、「児童の放課後の学校での運動の機会の保障」など、スクールバスによる一斉下校の本校の実態では、その言葉通りには取り組むことができないものもある。それらに対して、どのように知恵を出し合い、改善プランを企画し、取り組んでいくかということ、本校の教員全体のテーマとして捉えて実践している。

そのONESQAの指摘事項に対する、学校レベルでのアクション・プラン(改善プラン・改善行動)が、「総合的な学習の時間」における「逆向き設計のシラチャ・リポジトリ構想」や「子供たちが身に付けるべきコンピテンシーモデルとしての国際バカロレア教育のATLスキル\*の指導を全教員が共有するための校内研修」などである。もちろん、現時点で340話をこえるテーマを探究的な学習のために活用している「シラチャ・ペディア 2024」の作成も、身近な事象に対する興味関心に基づく個別の探究的な学びのレベルアップのための手段である。

\*ATL=Approach to Learning

また、それとは別に、個々の教員や学級学年レベルでも、学校課題を意識して、積極的にアクションプランに独自の角度から加勢しようとする動きもある。最近

シラチャ校の中で盛んに行われている「なわとび」もその一つで、50 回跳ぶごとに1ポイントを得ることとして、タイ全土の県の白地図を塗り絵していき、77県すべてを塗り終えた時には 3,850 回の累積数に達するといった小学部2年生の取組もそうであるし、縦割り班活動や委員会活動を利用して、子供たち自身が長縄跳び大会を企画したりしているのも、教師サイドのそのような雰囲気の子供たちの自治的な委員会活動にも伝わっているのだろう。また、ONESQAの指摘事項への改善行動を意識して、学校の体育の授業と子供たちの「学校外での主体的な体育的な遊びを結び付ける態度の育成」を研究テーマとして日々取り組んでいる教員もいる。

学習の方では、総合的な学習の時間の評価に、個別の「ルーブリック」(項目ごとの達成状況段階の早見表)を作成し、フィードバックしている取組や、学びの各要素に対する子供たちの自己達成感を学年の始めと終わりのレーダーチャートで可視化できるように意識して取り組んだ学年もある。

「総合的な学習の時間」が授業としては存在しない低学年でも、「文章の書ける子供」、「筆順を正しく覚えて漢字を書ける子供」など、すべての学力を支える日本語の基礎を定着させるために、明確なテーマの下で継続的な取組を行ってきた学年もある。



それらのゴールとして中学部では、「学校全体の学びの最

2025年2月18日の参観日に実施したTED×Sriracha決勝（発表後の発表者による「振り返りの発表」の様子）

高到達点」を形にすべく、現地校交流での英語を使ったプレゼンテーションコーナーの新設や、TED<sup>テッド</sup>(興味のある事象や探究的な学びの英語での発表・質疑応答)の校内コンクール TED×Sriracha を実施するなど、学校教育活動全体を通じて、次々と新たな先進的かつ提案的な取組が生み出されているわけである。

このようなバックヤードを知っていただければ、本校の各学年の先生方が、いたるところで次々に繰り出す新規のアイデアや実践が、自分の担当しているクラスや授業だけの視点ではなく、「学校課題の改善提案」という、より幅の広い視点に立ったものであることが理解していただけるのではないかと思われる。これらの教師側の「意識を高く持つ姿勢」や「視野の広さ」は、子供たちの意識や視野の育成を促し、さらには、子供たちの特長を見つけ伸ばすことにおいても必ずプラスに働くだらう。

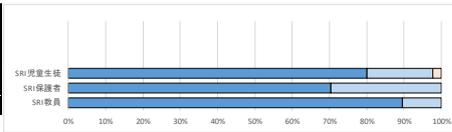
タイ教育省が実施する2028年度の ONESQA の学校評価結果がどうなるかは分からないが、現時点で、これだけ能力と勢いのある教員集団が、素直で優れた集団的なベースを持つ学級学年の児童生徒に向き合っているわけであるから、良い結果が出ないはずはないというのが、私が今、実際に感じているところである。

本校の保護者や児童生徒、教員などの学校関係者を対象に実施した下記の学校評価については、概ね良好な結果であったと感じている。しかし、その中で肯定的な評価が多かった部分についても、ONESQA による学校評価の指摘事項となっているものもあるし、また、私たち教員自身が課題として感じているものもあつたりする。そうした点も改善しながら、次年度も引き続きアクションプランを進め、本校を、日本人学校としてのミッションにより一層応えることができる「日本人の教育の場」にしていきたいと考えている。

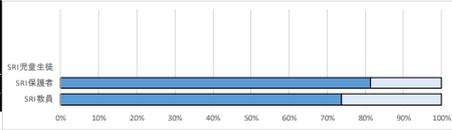
# 2024年度 学校関係者評価の結果（全質問）

## 1 学校全般に関すること

(01) 児童等危機管理に努めており、安心できる。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	276	61	8	0	97.7%	0.3%	2.3%	-0.3%	
SRI保護者	114	46	0	0	100.0%	6.2%	0.0%	-6.2%	
SRI教員	17	2	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

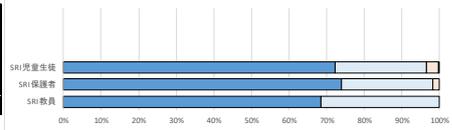


(02) 教職員の対応が丁寧である。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒									
SRI保護者	131	30	0	0	100.0%	2.1%	0.0%	-2.1%	
SRI教員	14	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

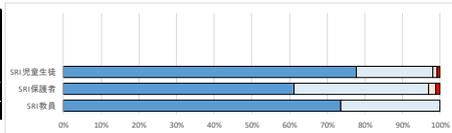


## 2 学年・学級に関すること

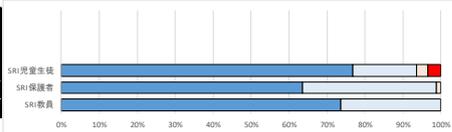
(03) 学級・学年の雰囲気がよく、子どもたちが生き生きとしている。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	249	84	11	1	96.5%	-0.9%	3.5%	0.9%	
SRI保護者	119	39	3	0	98.1%	1.6%	1.9%	-1.6%	
SRI教員	13	6	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



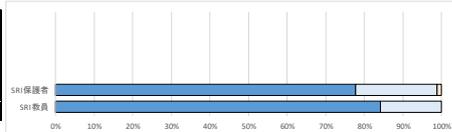
(04) 児童の悩みや相談に親身に対応している。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	268	70	4	3	98.0%	-1.0%	2.0%	1.0%	
SRI保護者	99	58	3	2	98.9%	4.5%	3.1%	-4.5%	
SRI教員	14	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



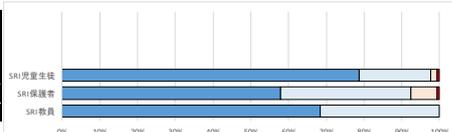
(05) いじめや差別・偏見のない学級・学年作りがされている。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	265	58	10	12	93.6%	-3.5%	6.4%	3.5%	
SRI保護者	101	56	2	2	97.7%	4.9%	3.2%	-4.9%	
SRI教員	14	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	



(06) 慶弔などを通じて学校の様子が伝わるように努めている。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	125	34	2	0	98.8%	0.8%	3.2%	0.8%	
SRI保護者	16	3	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%	

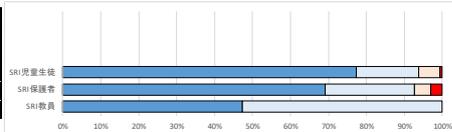


(07) 個々に応じた分かる授業作りがされている。		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	271	65	6	2	97.7%	-0.3%	2.3%	0.3%	
SRI保護者	92	55	11	1	92.5%	-2.7%	7.5%	2.7%	
SRI教員	13	6	0	0	100.0%	10.1%	0.0%	-10.7%	

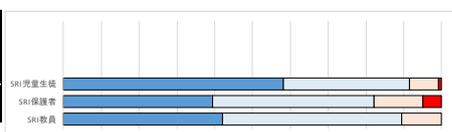


## 4 児童生徒に関すること

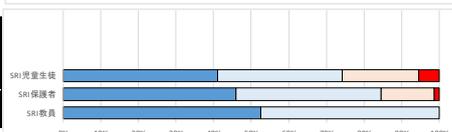
(11) 学校に喜んで通っている		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	264	56	19	2	93.8%	-1.8%	6.2%	1.8%	
SRI保護者	112	38	7	5	92.6%	6.4%	7.4%	-6.4%	
SRI教員	8	10	0	0	100.0%	17.9%	0.0%	-17.9%	



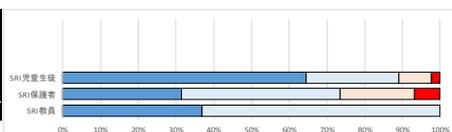
(12) 家庭以外の人も、よくあいさつをする		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	200	115	26	3	91.6%	-1.5%	8.4%	1.5%	
SRI保護者	64	69	21	8	82.1%	6.2%	17.9%	-6.2%	
SRI教員	8	9	2	0	89.5%	-10.5%	10.5%	10.5%	



(13) 学校や友だちのことを家庭でよく話す		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	142	115	70	19	74.3%	-2.1%	23.7%	2.1%	
SRI保護者	74	62	23	2	84.5%	0.3%	15.5%	-0.3%	
SRI教員	10	9	0	0	100.0%	21.4%	0.0%	-21.4%	

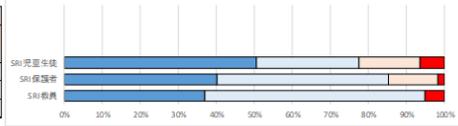


(14) 家庭学習によく取り組んでいる		評価				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
SRI児童生徒	222	84	30	8	89.0%	-4.4%	11.0%	4.4%	
SRI保護者	51	68	32	11	73.5%	0.4%	26.5%	-0.4%	
SRI教員	7	12	0	0	100.0%	7.1%	0.0%	-7.1%	

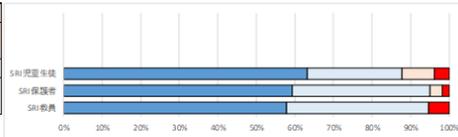


5 学校に望む教育に関すること

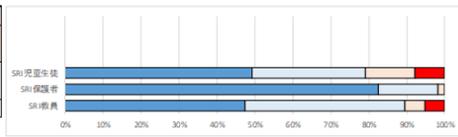
(15) タイ語やタイ文化の学習		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	173	80	55	22	77.6%	-7.8%	22.4%	7.8%
	SRI保護者	65	70	21	3	85.2%	7.3%	14.8%	7.3%
	SRI教員	7	11	0	1	94.7%	-5.3%	5.3%	5.3%



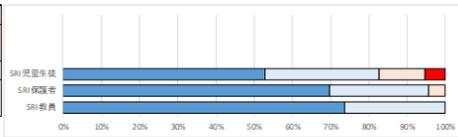
(16) コンピュータ等のICTを活用した学習		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	218	85	29	13	87.8%	-2.9%	12.2%	2.9%
	SRI保護者	96	58	5	3	95.1%	-0.1%	4.9%	0.1%
	SRI教員	11	7	0	1	94.7%	-5.3%	5.3%	5.3%



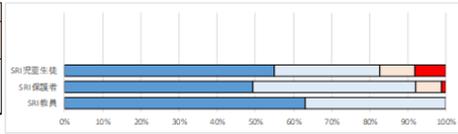
(17) ネイティブの英語教員による実践的な英語学習		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	166	102	44	27	79.2%	-8.2%	20.8%	8.2%
	SRI保護者	133	25	3	0	99.9%	-0.5%	1.9%	0.5%
	SRI教員	9	8	1	1	89.5%	-10.5%	10.5%	10.5%



(18) ディベートやプレゼンテーション等のコミュニケーション学習		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	181	102	41	18	82.7%	-3.1%	17.2%	3.1%
	SRI保護者	113	42	7	0	95.7%	-2.3%	4.3%	2.3%
	SRI教員	14	5	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

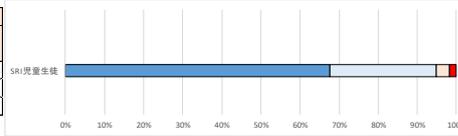


(19) 多文化共生や環境問題等のグローバル視点に基づく学習		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	187	94	31	28	82.8%	-4.8%	17.4%	4.8%
	SRI保護者	80	69	11	3	92.0%	-1.1%	8.0%	1.1%
	SRI教員	12	7	0	0	100.0%	0.0%	0.0%	0.0%

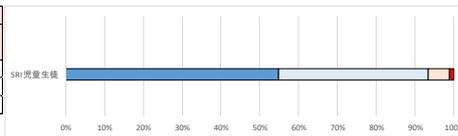


6 学校行事について(児童生徒向け)

(20) 交歓会を通じて、仲間と協力して楽しむことができた		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	233	93	12	6	94.8%	-0.3%	5.2%	0.3%
		0	0	0	0				
		0	0	0	0				



(21) 主体的な学習において、主体的に取り組むことができた		回答				Positive		Negative	
		そう思う	ややそう思う	ややそう思わない	そう思わない	増減	増減	増減	
	SRI児童生徒	131	92	13	3	93.3%	2.0%	6.7%	-2.0%
		0	0	0	0				
		0	0	0	0				



# 修学旅行を終えて

8年学年主任 橋本 宗樹

1月22日（水）～24日（金）の三日間、第8学年の生徒22名（男子12名、女子10名）は、タイ北部・チェンマイ方面への修学旅行を実施しました。この修学旅行の目的は、大きく2つありました。1つ目は、「タイの文化や伝統を体験し、知識を深め、今後の自分たちを見つめる」ことです。タイの歴史や生活、文化、伝統に関する知識を深めることで、身近な課題を発見し、自分に何ができるかを考え、世界に貢献する気持ちや態度を育てることを目指しました。2つ目は、「自主・自律・協調性」を大切に、社会性を育むことです。集団生活を通じて、自主的に行動する力や協調性の大切さを学ぶことを目的としました。

この修学旅行は、8年生が総合的な学習の時間（以下「総合」）で学んできた内容と密接に関連付けて行われました。事前に実施した「総合」の授業で調べた「タイの社会問題や伝統文化の存続」についての内容を、現地での体験と結びつけながら学びを深めました。

修学旅行の初日は、モン族が暮らすドイプイ村を訪れ、民族衣装を着ることにより、民族の文化を肌で感じました。美しい刺繍が施された衣装を身にまといながら、モン族の伝統的な暮らしや歴史について学ぶことができました。

二日目には、メーサーエレファントキャンプでの象の餌づくりや水浴び体験などの象との触れ合い体験を通じて、動物保護の大切さを実感しました。また、ポーサーンアンブレラビレッジでは、伝統的な手作り傘の制作を体験し、タイの職人技に触れる貴重な機会を得ることができました。さらに、タイシルクビレッジでは、家内工業としてのシルク生産の工程を見学し、サイアマヤチョコレートファクトリーでは、タイにおける新興のチョコレート産業の現状について知ることができました。

三日目には、ワットシーспанやワットプラシンといった歴史的な寺院を訪れ、タイの宗教文化について学びました。そこでは、細やかな装飾が施された寺院を前に、タイ仏教の歴史や信仰のあり方について真剣に考える生徒たちの姿が見られました。

今回の修学旅行を通じて、生徒たちは「自ら考え、行動する力」「集団行動の意義」「異文化理解の大切さ」を学ぶことができました。特に、現地の伝統的な職人技やそれを支える精神との接点を通じて、感謝の気持ちや相手を尊重する心を育むことができたと感じます。実際に現地で体験することの重みを実感した三日間でした。この貴重な経験を、今後の「総合」での学びや、将来の生き方に活かしてほしいと願っています。また、この修学旅行は、仲間との絆を深め、お互いを思いやる気持ちを育む機会にもなりました。

最後に、保護者の皆さまには、この修学旅行の実施に当たって、多大なるご協力をいただきましたことに心より感謝申し上げます。今後とも温かいご支援と協力をお願いいたします。



## MAMA(ママ)工場見学とタラート(市場)・コンビニエンスストア調べたいについて

3年学年主任 成田 潤一

みなさんは、MAMAのインスタントラーメンを食べたことがありますか。何味が好きですか。今年度の3年生の校外学習では、インスタントラーメンで有名なMAMA工場の見学に行ってきました。誰でも知っている、お手軽でおいしく食べることのできるインスタントラーメンの製造工程はどのようになっているのかな？そんな疑問をもって校外学習に臨むこととなりました。

工場見学に行く前には、社会科の時間に様々な種類の食品工場について学習をしました。各会社のホームページなどで紹介されているバーチャル工場見学を活用することで、興味深く工場について調べることができます。特に、「品質やおいしさ、衛生さを保つためにどのような工夫をしているのか」、「製造工程の順番」についてスライド等にまとめてきました。

そして、いよいよ校外学習当日です。工場敷地内には、調味料をつくっている建物からおいしそうな香りがしたり、思わず写真を撮りたくなるような小麦粉を補完する大きなサイロに目を奪われたりしまし



た。製造工程では、小麦粉に水をまぜて生地をきれいに伸ばすところから始まり、ライン製造によって揚げたり、袋詰めされたりする様子、カップ容器が高速移動しながら製造されている流れを間近で見ながらしおりにメモすることができました。見学後の質疑応答の時間には、20人くらいもの友達が質問するなど、充実した校外学習となりました。

ここシラチャの町は、多くの工業団地に囲まれた場所にあり、保護者の方も工場で働かれている方がたくさんいらっしゃいます。ぜひ、機会を見て「この工場では、〇〇の工夫をしているから、こんな良い〇〇につながっているよ。」「あの工場ではきっと〇〇な工夫をしているのではないかな。」などと学習を広げて行ってほしいなと思います。総合的な学習の時間には、スーパーマーケット、タラート(市場)、コンビニエンスストアについても学習してきました。身近に興味をそそる学習材がたくさんあるので、お子さんの知的好奇心を育むことに繋げていければと思います。





# 第16回卒業式

3月8日(土)は、第16回卒業式が行われます。6年・9年の児童生徒のみなさんは、これまで各学部のリーダーとして、そしてシラチャ校の代表として、大きな力を発揮しました。交流学習会やシラチャ祭などの学校行事では、下級生のお手本となり、行事の大成功に貢献しました。ぜひ、ここでの学びを次のステップで生かし、素敵な未来を築いていってください!! 卒業式では、みなさんの最高の晴れ姿が見れることを楽しみにしています。

なお、卒業式である3月8日は、小学1～4年生はお休みとなります。5年生と7、8年生は在校生として式に参加をします。お弁当なしの早めの下校となります。5年生は10時00分、7、8年生は12時05分のバス発車となります。ピックアップも、同じ時刻にお迎えをお願いします。



日 曜	児童・生徒の予定	バス時刻
1日(土)		
2日(日)		
3日(月)	・全校5時間授業	14:20 P1-6 M1-3
4日(火)	・卒業式予行(小・中)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
5日(水)	・購買(注文票配布日)	14:20 P1 15:25 P2-6 M1-3
6日(木)	・購買(注文票提出日)	14:20 P1-2 15:25 P3-6 M1-3
7日(金)	・卒業式前日準備(6,9年は5時間授業) ・学級だより配信(小学部)	14:20 P1-2,6 M3 15:25 P3-5 M1-2
8日(土)	・卒業式・学校だより配信 ・学級だより配信(9年)	10:00 P5 12:05 M1-2
9日(日)		
10日(月)	・全校5時間授業	14:20 P1-5 M1-2
11日(火)	・全校5時間授業	14:20 P1-5 M1-2
12日(水)	・全校5時間授業・学部集会(中学部)	14:20 P1-5 M1-2
13日(木)	・全校3時間授業・修了式・離任式 ・学級だより配信(7,8年)	11:25 P1-6 M1-3

★は特別バスです。通常の下校バスと時刻が違うときについています。

## 修了式

## 離任式

3月13日(木)は修了式です。学期ごとに行われる、卒業式とは異なり、その学年の教育課程(学習内容)を全て修めたことに対して行われるものです。式の後には、児童生徒のみなさん一人ひとりに通知表と一緒に修了証書が渡されます。この1年間いかがだったでしょうか。きっと1年前の自分と比べると、色々な面で成長できたことと思います。ぜひ、最後まで共に切磋琢磨してきた仲間や、お世話になった先生との時間を大切に過ごしてほしいと思います。

3月13日(木)は、本年度シラチャ校を離任する教職員の離任式も予定しています。卒業学年の6年生と9年生も参加することができます。参加有無についての確認のグーグルフォームを6、9年生対象に2月21日にグーグルクラスルームのストリームに配信していますので、2月28日(金)までにご回答いただきますようお願いいたします。

## 退学時のプレゼントについて

## 2025年度年間行事予定

例年、お子さんが退学される保護者の方から「お世話になった学級の友達にプレゼントを渡して良いですか?」という質問が学校にきます。多くの子どもが編入したり、退学したりしていくのは日本人学校の宿命です。お気持ちは理解できますが、一度それを認めると、プレゼントを交換することがお子さんの編入・退学時の慣例になってしまいます。編入・退学時の学校でのプレゼントの受け渡しは行わないよう、学校としては保護者の方々にこれまでもお願いをしております。保護者の皆様のご理解とご協力をお願いします。

2025年4月からの年間行事予定を2024年12月6日(金)にグーグルクラスルームのストリームに配信しました。各学年の校外学習等の日程につきましては、調整後に掲載します。また、変更等がありましたらお知らせをしますので、よろしくお願いいたします。

